



キリスト者共同体 集中公開講座

# パルジファル

## ～現代人のための神話

ミヒャエル・デーブス氏の夏の講座が二年ぶりに実現します。一昨年まではキリスト教の玄義である「三位一体」に徹底的に取り組んでまいりました。今夏は、現代人である私たちがキリスト存在を現実のものとしてとらえ、生き生きとした力を汲み取ることができるように、音楽家リヒャルト・ワーグナーが再創造した聖杯伝説、「パルジファル」をテーマにとりあげます。

日本ではあまり知られていないこの楽劇の中に、いかにワーグナーが現代人のためのキリストへの道を示そうとしたか、またそれをもとに私たち一人ひとりの聖杯（グラール）体験にいかに向かうかをデーブス氏とともに考えてみたいと思います。静かなお盆の東京で皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。

キリスト者共同体東京集会

講師：ミヒャエル・デーブス（キリスト者共同体司祭、人智学者）

時：2017年8月14日(月)～16日(水)

会場：キリスト者共同体東京集会 久が原集会所

定員：各コマ定員40名（定員に達し次第締め切らせていただきます）

参加費（受付にて）：  
 通し参加 一般 当日 10,000円 予約 9,000円  
 一般 当日 8,000円 予約 7,000円  
 部分参加（講義1コマあたり） 一般：2000円 会員・会員：1500円

### 日程

8月14日(月)	8月15日(火)	8月16日(水)
	9:30 人間聖化式	9:30 人間聖化式
	11:00 - 12:30 講義 ③	11:00 - 12:30 講義 ⑥ 閉会
	昼食	
14:00 - 15:30 開会、講義 ①	14:00 - 15:30 講義 ④	
休憩	休憩	
16:00 - 17:30 講義 ②	16:00 - 17:30 講義 ⑤	

☆ 講義はセミナー形式で、参加者の皆様との対話も含めて進行します。ご質問なども適宜受け付けられると存じます。講義はドイツ語で行われ、日本語による通訳がつきます。

☆ 二日目、三日目の朝にはキリスト者共同体の礼拝である人間聖化式が執り行われます。参列は自由です。

主催・申込先 キリスト者共同体東京集会

〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-16-19 1F

Fax03-3757-4917 Mail: tokyo@kirisutoshakyodotai.org

HP: <http://www.kirisutoshakyodotai.org>



## パルジファルとグラール

2017年8月14日～16日、東京集会講座によせて

ミヒャエル・デーブス

どんな人間も肉体をもつことによってこの地上界に生きようになります。これを「受肉」と言います。受肉があるからこそ、皆自分の誕生地や誕生日を持っているのです。キリスト教の基盤は、神の「受肉」です。人間と同じように神もまた現実の空間と時間の中に本当に受肉するのです。キリスト教におけるこの秘儀を理解するのはとても難しいのですが、じつはその秘儀の中にこそ、人類の未来が隠されているのです。この秘儀には二つの側面があります。まずそれは神によって創り出された現実です。しかし他方でそれは人間によって生じなければならないことなのです。

**聖杯の神話はこの人間によって生じなければならない側面を示しています。**

この神話はヨーロッパでは紀元1200年頃に登場します。そしてそれから700年たって、リヒャルト・ワーグナーはその楽劇『パルジファル』の中で、私たちの現代的意識にふさわしい新しい形を提示してくれました。キリスト教というものが単なる半分だけの現実であるにとどまらず、完全な現実となるために、人間は何をしなければならぬのでしょうか？ そのために人間はどのような危険にさらされるのでしょうか？ 本当の「救済」は一体どこにあるのでしょうか？



ミヒャエル・デーブス氏 略歴

1943年ドイツ生。大学で数学、物理学、哲学を、キリスト者共同体司祭養成ゼミナールで神学を学び、69年司祭就任。1978年～2007年ゼミナール教授として司祭養成・多くの日本人学生の指導にあたった。現在はドイツ・ミューリンゲン集会司祭。人智学の識者・講演者としての評価は非常に高く、集会司祭としての活動の傍ら、世界各地で講演、講座活動を行う。宗教と医学、教育など他分野との協力活動に積極的で、著作多数：「物質と光」、「コンピュータに“攻撃”される人間」、「信仰と認識」、「人智学とキリスト教会の改新」、「天使体験」、「マリア・ソフィア」など。最近では日本、韓国などでの講演、講座活動を毎年行い、アジア文化に深い関心を寄せている。

## キリスト者共同体について

キリスト者共同体は、1922年に中部ヨーロッパで開始されたキリスト教運動です。創立にあたって、人智学（アントロポゾフィー）の創始者であるルドルフ・シュタイナーの大きな助力を得ています。日本では2000年6月から正式に活動を開始し、現在、東京と大阪に二つの集会（教会）があり、また札幌には定期的に司祭が訪問する準備会があります。

キリスト者共同体は自由な精神を大事にします。そのため特定の教義やドグマを設けず、新しい礼拝と儀式（サクラメント）の実施を活動の中心におき、現代にふさわしい宗教活動を創造することを目指しています。

キリスト者共同体の儀式、講演、講座などの主要な活動には、一般の方でも自由にご参加になれます。